

# 特別支援教育支援員概論

単位数	履修方法	配当年次
2	SR	2年以上



科目コード

ET3771

担当教員

庭野賀津子(上)  
鳴海 宏司(下)



※2017年5月11日までに履修登録し、2019年3月までに単位修得してください。

※スクーリングは2017年度まで開講します。2018年度以降は開講いたしません。

※2014年度までの入学者と、2015年度2・3年次編入学者・科目等履修生、2016年度4月生3年次編入学者のみが履修登録可能です。

## ■科目の内容

特別支援教育支援員を目指している方、あるいはすでに現職にある方に、特別支援教育支援員の業務を遂行する上で必要な基礎知識を学んでいただくための科目です。特別支援教育支援員の心構え、業務内容、特別支援教育、学校現場、各障害の特性等の基礎的事項と支援技術を習得することをねらいとしています。特別支援教育支援員のみならず、教師、保育士、一般の方々にも役立つ内容となっています。

## ■到達目標

- 1) 特別支援教育支援員の役割について説明できる。
- 2) 脳性まひ児の視覚認知について説明できる。
- 3) 脳性まひ児の行動特性について説明できる。
- 4) 発達障害の理解と支援について説明できる。

## ■教科書

庭野賀津子編『特別支援教育支援員ハンドブック』日本文化科学社、2010年

## ■在宅学習8のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	特別支援教育支援員とは(第1章)	特別支援教育支援員の役割や心構えについて知る キーワード：役割、心構え	特別支援教育支援員の役割や心構えについて理解しましょう。
2	学校現場の理解(第2章)	学校現場の理解について知る キーワード：学校現場	学校組織の体制について理解しましょう。
3	各障害の基礎知識(第3章)	発達障害、知的障害について知る キーワード：発達障害、知的障害	各障害の特性や支援方法について学びましょう。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
4	各障害の基礎知識 (第3章)	肢体不自由, 病弱・身体虚弱について知る キーワード: 肢体不自由, 病虚弱	各障害の特性や支援方法について学びましょう。
5	各障害の基礎知識 (第3章)	視覚障害, 聴覚障害について知る キーワード: 視覚障害, 聴覚障害	各障害の特性や支援方法について学びましょう。
6	各障害の基礎知識 (第3章)	言語障害, 情緒障害について知る キーワード: 言語障害, 情緒障害	各障害の特性や支援方法について学びましょう。
7	特別支援教育支援員の実際 (第4章)	特別支援教育支援員の実際について知る キーワード: 特別支援教育支援員の実際	実際の例をもとにしながら具体的な役割について考えてみましょう。
8	専門職・専門機関 (第5章)	特別支援教育にかかわる専門職・専門機関について知る キーワード: 専門職, 専門機関	特別支援教育にかかわる専門職・専門機関はどのようなところがあるのか学びましょう。

## ■レポート課題

1 単位め	教科書第1章をよく読み、特別支援教育支援員に求められる役割と心構えについて、あなたの考えも含めてまとめなさい。
2 単位め	教科書第3章で解説されている8つの障害の中から、特にあなたが興味を持っている障害2つを取り上げ、参考文献も参考にしながら、①障害の特性、②支援をする上で配慮する事項について、まとめなさい。

## ■アドバイス

**1単位めアドバイス** 特別支援教育支援員は教育現場である幼稚園や学校で直接幼児児童生徒の支援に当たる職ですが、教員とは違う役割が求められます。教科書をよく読んで役割や心構えについて知るとともに、自分が特別支援教育支援員になった場合、どのような点について気をつけていきたいかを考えてレポートをまとめてください。すでに現職にある方は自身の経験もふまえながらまとめてみてください。

**2単位めアドバイス** 教育現場で幼児児童生徒に対して適切な支援を展開していくためには、まずは対象児の障害の特性を知り、支援ニーズに応じた的確な支援方法を考えなければなりません。そのためにも、教科書に記載されてあることをベースとして、さらに参考文献によってより障害についての理解を深めておきましょう。参考文献については第3章の各項の末に挙げられていますが、それ以外の参考図書を用いてもかまいません。なお、レポートの最後には、必ず、参考とした図書名をあげてください。

## ■科目の評価基準

スクーリング評価100%で評価する。

## ■参考図書

教科書の各章、項の最後に参考図書があげられていますので、それらを参照してください。